

東アジア男女共同参画担当大臣会合

2006年に、日本が主導して、東アジアにおける男女共同参画に関する初の担当大臣会合が東京で開催された。第2回会合は2007年にニューデリー（インド）で、第3回会合は2009年にソウル（韓国）で開催された。

第4回は、2011年にカンボジアで開催される予定。

1. 第1回 東京

- テーマ：「東アジアにおけるジェンダーの平等を目指して」
- 参加国・機関：16カ国（中国、韓国、ASEAN10カ国（インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジア）、オーストラリア、ニュージーランド、インド、日本）・2国際機関（ESCAP、UNDP）が参加
- 成果：「東京閣僚共同コミュニケ」

2. 第2回 ニューデリー

- テーマ：「家庭内労働」、「女性に対する暴力」「意思決定過程における女性」
- 参加国：11カ国（カンボジア、中国、インド、インドネシア、日本、マレーシア、ミャンマー、ニュージーランド、フィリピン、タイ、ベトナム）
- 成果：「ニューデリー閣僚共同コミュニケ」

3. 第3回 ソウル

- テーマ：「経済危機と女性」
- 参加国・機関：東アジア11カ国（ブルネイ、日本、カンボジア、タイ、マレーシア、中国、インド、インドネシア、韓国、フィリピン、ベトナム）、オブザーバー3カ国（パキスタン、スリナム、ウズベキスタン）・2国際機関（ESCAP、UNDP）
- 成果：「ソウル閣僚共同コミュニケ」